

安全パトロール

名取川熊野堂地区堤防他測量業務 (東北地方整備局 仙台河川国道事務所)

弊社では現場作業時の安全対策を強化するため、現場担当の女性社員による安全パトロールを実施しております。

日ごろ現場経験の少ない第三者目線で点検することで、見落としがちな危険箇所の改善を目的としております。

今回は、名取市内にて安全パトロールを実施してまいりました。



安全パトロール実施状況



作業前ミーティング



各現場を確認



パトロール結果報告

作業当日の気象情報や災害発生時の避難場所や作業時の注意点について情報共有を行う為、安全掲示板を活用し作業前ミーティングを行った。

担当者に作業内容の確認を行い、事前に把握した危険箇所や注意点を聞き取りし、安全に作業が行われているか、第三者目線で確認を行った。

パトロール結果について担当者全員で意見を出し合い、次回の測量作業時における課題について安全対策案の検討を行った。

安全対策実施状況

①作業状況箇所注意点を抽出・安全対策マップの整理

作業箇所注意点

- 交通量の多い市街地や、歩道がなく狭い道路、堤防での作業時には通行・移動の際注意する
- 現場周辺ではクマの目撃情報があった為、作業時注意する
- 堤防上は日陰がなく、コンクリートの輻射熱がある為、熱中症に注意する



現地踏査時に作業箇所の確認を行い、現地状況の把握を行った。現場周辺の注意点を抽出して安全対策マップを整理し、注意箇所を作業担当者へ周知し、測量作業時の安全対策の検討を行った。

②安全対策の検討・安全対策実施結果

①都市部での作業環境向上への対応



作業箇所（狭い道路）



交通誘導員

交通整備の様子

工事名：名取川熊野堂地区堤防他測量業務
工種：安全監理
撮影日：令和3年6月6日

誘導員配置

交通量の多い作業箇所や、歩道がなく狭い道路、堤防での測量作業時には交通誘導員を配置し交通整備を行うことで事故防止を図った。

②社会条件等への対応（害獣対策）



ベルトから着脱して噴射

迅速な対応ができるよう使用訓練を実施



現場で携行

ベルト・リュックに装備して噴射にかかる時間を比較した結果、ベルトに装備する方が早いことがわかった。作業時はベルトに装備し携行するよう担当者へ周知を行った。

③厳しい自然条件への対応（熱中症対策）



対策①

熱中症対策
アドバイザー

飲み物・塩分タブレットを配布



対策②

サマータイムを導入

熱中症対策アドバイザーが随行し、高温になりやすい堤防ではWBGT(暑さ指数)26度を目安とし声掛けを行った。またサマータイムを導入し熱中症の危険を回避した。

作業現場での留意箇所・注意点を共有し、安全対策の検討を行うことで作業環境が整備され、未然に事故を防ぐ取り組みができておりました。今後も「安全・安心」な現場作業を行うために取り組んでまいります。